

令和2年度 事業実績

社会福祉法人 豊岡市社会福祉協議会

目 次

1. 組織運営体制の強化 -----	3
2. 財政基盤・組織経営の強化 -----	5
3. 包括的支援体制整備・地域福祉ネットワークづくりの強化・充実 -----	6
4. 地域における利用者本位の福祉サービスの実現 -----	19
5. 様々な地域課題に対応する人材育成と確保 -----	20
6. 住民参画による新たな取組の開発 -----	21
7. 社協活動の見える化・透明性の確保 -----	21

豊岡市社会福祉協議会事業活動

1. 地域福祉活動 -----	22
2. ボランティア・市民活動センター、福祉学習 -----	29
3. 在宅福祉サービス -----	31
4. 法人運営 -----	33
5. 介護保険・障害者サービス -----	38

【豊岡市社会福祉協議会 基本理念】

「一人ひとりが つながり 支え合う 安心な地域づくり」

【豊岡市社会福祉協議会 使命】

1. 多様なネットワークの構築と住民主体の地域福祉を推進する。
2. 住民がその人らしい豊かな在宅生活を送るための支援を行う。
3. 確固たる組織経営を構築する。

はじめに

少子高齢化と人口減少が進む中、家族・親族の絆の弱まり、地域の支え合いの基盤の弱まりにより、社会的に孤立し、課題が複雑化・重篤化して発見されるケースが増えています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的困窮から課題が深刻化する中、市や関係機関、地域と連携・協働し、地域の中でその人らしく暮らせる支援に取り組めました。

新型コロナウイルス感染症の影響は、地域づくりにおいても、集まり顔を合わせることを基本としてきた地域福祉活動を進めることができず、地域のつながり・支え合いの低下が懸念される状況が続いています。しかし、その一方で、住民同士のつながりを絶やさないための支え合い活動を展開されている地域もたくさんありました。それらの活動を支援し、他地域への広がり、コロナ禍だからこそ人と人とのつながりの大切さを発信する「とよおか・つながるプロジェクト」を社協広報 NIKO やホームページ等を活用して実施しました。

基本理念「一人ひとりが つながり 支え合う 安心な地域づくり」の実現に向け、組織運営体制の強化については、部署を越えた連携のもと支援を進めるため、各支所単位での「圏域ミーティング」を通じ、個別支援と地域支援の一体的な推進に取り組みました。また目標管理制度に基づく、重点的取組みの計画的な遂行に努めました。

財政基盤・組織経営の強化では、介護サービス事業において、その人らしく豊かな在宅生活を支えるためにサービスの質の向上に努め、中長期経営計画に基づく、介護サービス事業の運営の見直しや健全経営に取り組みました。

包括的支援体制整備・地域福祉ネットワークづくりの強化・充実では、地域の支え合いを高めるため、コロナ禍における集いの場、話し合いの場、見守り活動等の新たな展開方法を模索しました。また福祉委員、民生委員、民生・児童協力委員、区長の連携強化を進める取組み等を通じて、行政区・地区圏域における住民主体の地域福祉の推進に取り組みました。

地域課題の解決のため協議の場である地域福祉推進委員会及び地域福祉部会において、高齢者、障がい者の外出課題調査を実施しました。今後、外出の課題への取組みを切り口に、地域の支え合いの機能強化を進めます。また、社会福祉法人の連携による地域課題の解決をめざす豊岡市社会福祉法人連絡協議会では、コロナ禍での相互連携の強化の足掛かりとして「新型コロナウイルス実態調査」を実施しました。

地域における利用者本位の福祉サービスの実現では、利用者一人ひとりの想いによりそい、望む暮らしの実現に向け、柔軟な対応に取り組みました。地域福祉・生活支援拠点ぐるらんでは、訪問・通い・宿泊サービスの提供により、在宅生活を守ること、コロナ禍での可能なかたちでの地域住民と交流を進め、地域福祉の拠点としての機能を発揮できるよう取り組みました。

しかし、ぐるらんの機能や柔軟なサービス提供を十分に伝えることができていないため、新規利用者の確保が大きな課題です。

住民参画による新たな取組みの開発では、災害時の連携・協力体制の強化として、一般社団法人豊岡青年会議所、豊岡商工会議所青年部、豊岡市商工会青年部の4者の相互協定に向けた協議や、善意銀行プロジェクトチームによる企業や福祉相談支援機関、子育て世代等のメンバーによる協議を通じて地域課題の解決のための新規事業の開発を行い、多様なネットワーク構築を進めました。

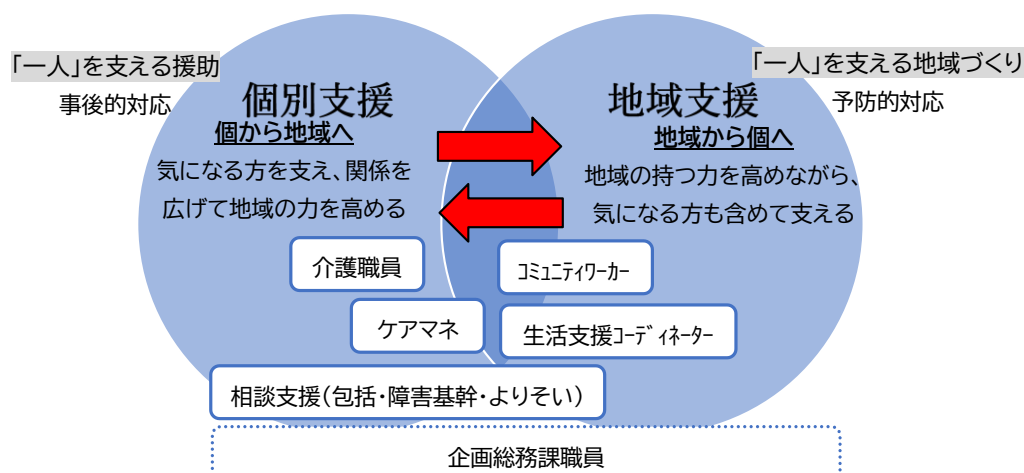
1. 組織運営体制の強化

豊岡市社協が地域福祉を推進する中核組織としての役割を果たせるよう、豊岡市地域福祉計画の2つの基本目標「住民の主体的な地域づくり」「総合的な相談・支援体制づくり」のもと、多職種が連携し、個別支援と地域支援を一体的に推進する組織運営体制の強化に取り組みました。

また、重点的取組みが計画的に実施できるよう課長補佐級以上の管理・監督職を対象とした目標管理制度に取り組みました。

(1) 住民ニーズ、地域課題の解決に向けた組織内連携の強化

地域支援職員、相談支援職員、介護サービス職員、企画総務課職員が月1回、圏域（旧市町域）ごとに組織内連携を進める協議の場を持ち、各部署の情報共有や支援方法の検討等を行いました。様々な課題に直面し生きづらさを抱えた方を、地域の中で支える専門職と住民によるネットワークづくり（個別支援）と、住民主体の地域福祉活動を進め、地域の支え合いの基盤づくり（地域支援）の一体的な推進に取り組みました。



【組織内連携の場】

	参集者	内容
圏域ミーティング	・地域支援職員（コミュニティワーカー、生活支援コーディネーター） ・相談支援職員（地域包括支援センター、障害者基幹相談支援センター、総合相談・生活支援センター）	・各部署の情報共有 ・地域課題、社会資源情報の共有 ・組織内連携による支援、地域住民と専門職の連携・協働による支援の検討
地域福祉計画 圏域行動計画コア メンバー会議	・介護サービス事業所職員 ・企画総務課職員	・地域福祉計画の基本目標達成に向けた圏域ごとの行動計画の実践、成果・課題の検証

(2) 目標管理制度による重点的取組の遂行

基盤強化計画に位置づけた重点的取組を着実に実行していくために、課長補佐以上の管理・監督職を対象とした目標管理制度に基づいて進捗管理に取り組みました。

主な項目	進捗状況										
中長期経営計画の進捗管理	・豊岡港デイサービスの地域密着型事業への移行 ・竹野南デイサービスの方向性について結論に至る。 →黒字経営が続く間は継続、赤字になった時点で竹野デイとの統合を検討										
働きやすい職場環境づくりの整備	・正規、嘱託職員を対象としたアンケートの実施 ・各部署・事業所で働きやすい職場づくりに向けた取組みの設定と実施 →ノー残業デイ、定期的な情報共有の場の設置等										
支え合いの地域づくりのための「集いの場」	・集いの場（いきいきサロン、玄さん元気教室）実施 行政区数 年度目標…305区 設置数…295区										
介護保険事業の利用者の確保	・利用者数目標達成率 <table border="0"> <tr> <td>ケアプランセンター</td> <td>99.1%</td> </tr> <tr> <td>ヘルパーステーション</td> <td>95.0%</td> </tr> <tr> <td>デイサービスセンター</td> <td>99.6%</td> </tr> <tr> <td>訪問入浴事業</td> <td>126.9%</td> </tr> <tr> <td>小規模多機能型居宅介護事業</td> <td>79.0%</td> </tr> </table>	ケアプランセンター	99.1%	ヘルパーステーション	95.0%	デイサービスセンター	99.6%	訪問入浴事業	126.9%	小規模多機能型居宅介護事業	79.0%
ケアプランセンター	99.1%										
ヘルパーステーション	95.0%										
デイサービスセンター	99.6%										
訪問入浴事業	126.9%										
小規模多機能型居宅介護事業	79.0%										

(3) 介護サービス事業所の連携体制の整備と運営の強化

サービス事業の種別ごとに管理者会議を実施しました。各事業所においては、毎月職員会議を実施し、目標人数の達成状況に対する課題、サービスの質、職場環境、業務遂行等の課題を職員が抽出し分析を行いました。その上で、解決に向けた目標を職員間で協議し設定しました。事業所では目標に対して具体的な取組を考え実施。月単位でPDCAサイクルを活用し運営の強化に取り組みました。各事業所の課題、取組状況を管理者会議で報告し合うことで、解決策の情報が共有され、目標人数の達成、サービスの質の底上げ、業務改善等に対して連携が図れました。

2. 財政基盤・組織経営の強化

(1) 中長期経営計画に基づいた取組の推進

豊岡市社協が安定的な組織経営を確立していくために中長期経営計画に盛り込んだ各取組を遂行することが重要になります。

①竹野南デイサービスの事業継続について

- ・平成30年度、令和元年度と続けて赤字経営が続いていたことから、事業継続或いは竹野デイサービスへの統合について検討しました。
- ・竹野南地区の社会資源、高齢者人口の推移等を踏まえて職員レベル、経営戦略・在宅福祉部会で検討を重ねました。
- ・地域コミュニティ組織との連携・協働等により令和2年度は大幅に利用者が増加し、経営状況が回復しました。
- ・今後も黒字経営が続く間は事業を継続します。ただし、利用者数の減少等により経営状況が赤字になった時点で竹野デイサービスとの統合を検討します。

②豊岡港デイサービスの地域密着型への移行

- ・市街地の多様なサービスを提供する事業所へ移行する利用者が増え、通常規模型デイサービスとしての運営が厳しくなってきたことから事業の方向性を検討しました。
- ・地域コミュニティ組織との連携が取りやすい立地条件にあるなど、地域住民との交流が図りやすい環境を活かして地域密着型デイサービスへの移行を決定しました。
(令和3年4月からスタート)

③豊岡西デイサービスの事業の方向性について

- ・競合他社の多い市街地において近年、利用者が減少していることから地域密着型サービスへの移行も視野に事業の方向性について検討しました。
- ・利用者確保が厳しい状況の中、仮に地域密着型サービスに移行しても安定的に利用者確保することが困難と予測されます。また、地域密着型サービス（小規模多機能型居宅介護）のパイロット的事业である「ぐるらん」の経営状況が厳しいことから方向性を明確に示すことができていません。今後、収支改善に向けた具体的な取り組みを早急に行う必要があります。

3. 包括的支援体制整備・地域福祉ネットワークづくりの強化・充実

誰もが地域の中で、その人らしく豊かな在宅生活を送ることができるよう、住民主体の地域福祉活動をサポートし、地域の支え合いの基盤づくりを推進しました。また、エリア（行政区、地区、旧市町、市全域）を意識した活動を進め、住民や関係団体、事業所や社会福祉法人等の地域福祉ネットワークの構築に取り組みました。

多様化・複雑化する住民の様々な困りごとを受け止め、解決に向け行政や関係団体、地域と連携する包括的な支援体制の構築に取り組みました。

（１）多様なネットワークによる住民ニーズ・地域課題の把握、社会資源開発の検討

①行政区及び地区圏域における支え合いの基盤づくりの推進

地域の支え合いの基盤づくりに向けて、住民同士の交流を広げるいきいきサロン等の集いの場づくりの推進、地域の福祉課題を共有し解決への取組みを話し合う福祉委員会や協議体等の話し合いの場づくりの推進を重点的な取組みとして、コミュニティワーカーや生活支援コーディネーターが、住民の主体的な地域福祉活動のサポートを行った。

【いきいきサロン開催地域コミュニティ組織の状況】

		設置数		設置率	
地域	地区数	R2. 3月末	R3. 3月末	R2. 3月末	R3. 3月末
豊岡	10	8	8	80%	80%
城崎	1	1	1	100%	100%
竹野	3	3	3	100%	100%
日高	6	4	4	66%	66%
出石	6	5	5	83%	83%
但東	3	3	3	100%	100%
合計	29	24	24	82%	82%

【いきいきサロン開催行政区の状況】

		設置数		設置率	
地域	行政区数	R2. 3月末	R3. 3月末	R2. 3月末	R3. 3月末
豊岡	123	95	101	77%	82%
城崎	31	17	18	54%	58%
竹野	42	27	27	64%	64%
日高	70	58	57	82%	81%
出石	51	43	43	84%	84%
但東	42	33	33	78%	78%
合計	359	273	279	76%	77%

※助成金未申請のサロンも含む

【いきいきサロン助成先内訳】

(単位:件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
地域コミュニティ組織	8	1	3	4	5	3	24
行政区	100	18	27	53	42	33	273

【行政区へのサロン助成年数別内訳】

(単位:件)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目以降	合計
令和元年度	26	49	10	23	12	14	130	264
令和2年度	10	26	50	10	23	12	142	273

※地域コミュニティ組織への助成金額…4万円

※行政区への助成金額:1年目…5万円 2年目…2万円 3年目…2万円

4～6年目…3万円 7年目以降…2万円

(4年目～6年目のサロンは経過措置期間。現行規程では2万円)

②コロナ禍における地域福祉活動のサポート

緊急事態宣言による不要不急の外出の制限により、これまで地域福祉活動推進の中心に据えてきた「集いの場」「話し合いの場」による活動の展開が難しい状況となりました。その中で地域の支え合い活動の低下や交流機会の減少により孤立化が進み、困りごとの発見の遅れが懸念されました。地域福祉活動者へのヒアリング調査や「コロナに負けるな通信」の発行等文書や電話等による働きかけ等を行い、コロナ禍における新たな地域支援の展開方法を模索する一年でした。

ア. 地域福祉活動ヒアリング調査

緊急事態宣言の発令に伴い、サロン等の地域福祉活動の状況や課題の把握のためのヒアリング調査を2回実施しました。調査にあわせ、区長やサロンスタッフ等にコロナ禍における見守り活動・支え合い活動推進の啓発を行いました。

	第1回調査	第2回調査
調査時期	令和2年6月～8月(宣言解除後)	令和3年1月(宣言期間中)
調査数	162区	260区
調査方法	サロン訪問時による聞き取り調査	電話による聞き取り調査
調査結果	地域のつながり低下を懸念する声が聞かれました。一方で、集まらない状況の中で、「つながりを保つ」ための電話や手紙による安否確認や、手作りマスクの配布等、地域住民の創意工夫された活動が行われていました。	約9割のサロンが活動自粛。しかし、区役員や民生委員、区福祉委員会メンバー等による見守り活動の強化や、サロンスタッフが活動休止のチラシを作成し手配りされた等の活動状況を把握できました。

イ. 「コロナに負けるな通信」の発行

地域住民や団体等へ「コロナに負けるな通信」を計6回発行しました。感染症予防対策の啓発やコロナ禍における住民主体の地域福祉活動を紹介し、コロナ禍だからこそ地域でつながり合うこと、支え合うことの重要性を発信しました。

ウ. 「とよおか支え合いカレンダー」の作成・配布

歳末たすけあい募金配分金をもとに「とよおか支え合いカレンダー」を作成し、75

歳以上の一人暮らし高齢者へ民生委員を通じて配布しました。心温まる住民交流の写真をカレンダーに掲載し、コロナ禍における地域のつながりの大切さを啓発するとともに、福祉の相談先一覧を掲載し、困りごとの早期発見につながるよう取り組みました。

③エリア階層別の課題解決・サポート体制の構築・推進

豊岡市地域福祉計画において、エリア階層別の課題解決・サポート体制の構築を位置づけ、地域における住民主体の課題解決や包括的相談支援体制を推進することを掲げています。

あらゆる地域課題の解決に向けて、エリア階層を4つ（行政区圏域、地区圏域、旧市町圏域、市圏域）に設定し、それぞれの階層における課題解決のためのネットワーク（協議の場等）の構築に地域住民、行政、福祉分野の各種専門機関等と取り組みました。

【各階層の課題解決・サポート体制の実施状況】

階層	実施状況
行政区圏域	○話し合いの場（見守り会議、福祉委員会）づくりの推進 ・コロナ禍において、定期的な「話し合いの場」を持つことが制限される中、できる範囲での見守り・支え合い活動の推進を、区長や民生委員等へ働きかけました。 ・職員が話し合いの場に参加し、支え合いマップ等により地域課題の整理を行い、コロナ禍における見守りの推進や課題解決の検討、支援を必要とする方を専門機関につなぎました。 設置行政区数…181
地区圏域	○協議体（地域サポート会議）設置の推進 ・生活支援コーディネーターが地域コミュニティ組織の福祉部等へ参画し、『協議体（地域サポート会議）』の設置に取り組みました。 ・協議体において、地域課題の整理、解決への取組みの検討、地域の人材育成の取組等の支援を継続して行い、地区圏域における住民、事業所等のネットワークづくり、地域の支え合いの基盤づくりを進めました。
旧市町圏域	○地域福祉推進委員会 ・各支所単位で区長、民生委員、福祉委員、地域福祉活動者等を委員とした地域福祉推進委員会を隔月で実施しました。 ・高齢者、障がい者の外出（移動・交通）にかかる実態調査の実施内容の検討、調査結果に基づき、課題解決に向けた検討を行いました。 ○専門職による協議の場づくりの推進 ・地域包括支援センターの圏域ごとに自立支援型ケア会議を開催し、個別ケースの検討を通じた支援スキルの向上とともに、個別支援から見てきた地域課題の整理を行いました。
市圏域	○地域福祉部会 ・旧市町圏域の地域福祉推進委員会の代表を委員としています。

	・高齢者、障がい者の外出（移動・交通）に関する実態調査の進め方について各地域福祉推進委員会の意見を集約した調査方法・スケジュールについてまとめ、ヒアリング調査を実施しました。 ○専門職による協議の場づくりの推進 ・総合相談支援ネットワーク推進協議会の事務局を担い、総合相談支援チーム会議を開催しました。生活困窮者支援を切り口とした市と社協の各部署の職員による協議の場づくりを行いました。
--	---

【支え合いの地域づくり活動助成件数】

行政区圏域の地域の支え合いの基盤づくりに向けて、支援を必要とする住民の孤立を防ぐ見守り、支え合い活動の推進を目的に活動する行政区に2万円を上限として活動助成を行いました。

(単位:件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
令和元年度	112	9	16	29	27	7	200
令和2年度	113	11	19	31	28	8	210

【協議体(地域サポート会議)設置】 設置数…23 カ所が設置に同意

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
平成30年度	2	1	1	0	3	3	10
令和元年度	1	-	1	1	1	-	4
令和2年度	4	-	0	3	2	-	9
計	7	1	2	4	6	3	23

設置年	地域名	地区名	協議体の団体名
令和2年度	豊岡	奈佐	奈佐地区コミュニティなぎさの会 奈佐地区福祉連絡会
		田鶴野	コミュニティたづるの 福祉ふれあい部会
		港	コミュニティみなと未来 福祉部会
		豊岡	とよおかコミュニティ 31
	日高	三方	コミュニティ三方
		国府	コミュニティこくふ
		清滝	桜・清流の郷きよたき
	出石	小坂	夢コミュニティ小坂 あんしん・助け合い部会
		小野	小野コミュニティ健康福祉部

【生活支援コーディネーターの主な活動状況（代表的な取組）】

地区	活動状況
田鶴野	➤ 福祉ふれあい部会が開催する「たづのサロン」を通じて、サロン活動の展開等の課題が浮き彫りとなり、生活支援コーディネーターがファシリテーターとして今後の取組に向けた意見交換（ワークショップ）を支援しました。 ➤ 意見交換では、サロンの今後に向けた話し合いと、これからの福祉活動に向けた意見交換も行い、継続して意見交換・情報共有の機会の必要性が出されました。 ➤ 田鶴野地区は、民生委員の担当エリアが複数行政区にまたがっている状況もあり、情報把握が難しいとの課題が挙がっていました。意見交換とコロナ禍の課題も踏まえ、情報共有の機会の必要性が高まることになります。 ➤ 福祉ふれあい部会役員と生活支援コーディネーターが協議を進め、地区内の情報共有等を進める運びとなり「田鶴野地区福祉連絡会」を開催。区長、民生委員、民生・児童協力委員、福祉委員の顔合わせ・情報共有の機会、また田鶴野地区担当の福祉専門職が関わる機会として支援しました。
西気	➤ 西気明日のいしずえ会では、神鍋大根プロジェクトを立ち上げ、「神鍋大根をきっかけに、様々な交流をつくっていくこと・いろいろな人と一緒に活動すること」を考えられていました。生活支援コーディネーターがその想いを日高地域内の障害福祉事業所（NPO 法人そら）に伝え、活動展開が始まりました。 ➤ NPO 法人そら利用者の大根収穫活動への参加等により、NPO 法人そらと西気明日のいしずえ会と協力関係が強まります。 ➤ 令和2年度は、コロナ禍により同プロジェクトによる神鍋大根を通じた交流展開ができなかったことから、生活支援コーディネーターが橋渡しを行い、西気地区に近い福祉事業所に提供することになります。西気明日のいしずえ会と6つの福祉事業所がつながるきっかけとなりました。 ➤ NPO 法人そらの西気地区内のグループホーム開設に向けて、生活支援コーディネーターも地域とのつながりづくりをサポートします。丁寧に両者の関係性を紡ぐ関りを重ね、西気明日のいしずえ会と NPO 法人そらが協力した交流会が実施されました。同地区と福祉事業所の協働体制の構築が進んでいます。
資母	➤ 資母地区では、民生委員不在の地域があり、高齢化・人口減少等による役員の担い手不足を、暮らしづくり部も課題として捉えていました。 ➤ コロナ禍により大人数で集まることが出来ないため、暮らしづくり部と協働し、民生委員担当行政区単位での協議の機会をつくります。民生委員だけではなく、区内で連携して地域福祉活動を進めることの必要性を伝えました。 ➤ 現在の見守り・支え合い活動が継続できるよう区内連携のシステム作りとして、区福祉委員会活動を進めていくよう暮らしづくり部と協働で働きかけました。暮らしづくり部が起点となり、区福祉委員会活動の支援と展開がされています。

④地域福祉フォーラム代替事業（とよおか・つながるプロジェクト）の開催

新型コロナウイルス感染予防の観点から、地域福祉フォーラムは中止とするも、コロナ禍だからこそ「人と人とのつながり」の大切さを発信するために「とよおか・つながるプロジェクト」と題して“集わない形”での取組みを実施しました。

◇社協広報紙での地域福祉活動の紹介

発行月	地域	団体・活動内容
11 月	城崎	城崎中学生有志 手作りマスクをきっかけに地域の方との交流を継続
	日高	久田谷ふれあいいきいきサロン ひとり暮らし高齢者へのお弁当をお届けする友愛訪問活動
12 月	竹野	竹野愛育班 集いの場「ぱんぷきん」を通じて広げる健康と福祉の輪
	出石	奥小野サロン会、三木ファミリークラブ コロナ禍に心のつながりを大切にした訪問活動
1 月	豊岡	気比区 「みすず工房」 地域のつながりを生み、支え合いの輪が広がる小さなパン屋さん
	但東	坂津いきいきサロン 旧公会堂を改修した住民交流拠点を通じた活動

◇活動者による座談会

社協広報紙で紹介した活動者による座談会を開催し、活動への想いを伝えあい、深めあいました。座談会の様子を社協広報 2 月号で紹介、動画共有サービスで配信して、市内の福祉活動者等へ届けることで「気づき」や「学び」を広げました。

座談会開催日 令和 2 年 12 月 23 日

地 域		参加者氏名	備 考
豊岡	みすず工房	石田美鈴氏	企業・団体
城崎	城崎中学校	植田莉ノ愛氏、岸本陽菜乃氏、井垣ゆう氏	学校・コミュニティ組織
竹野	竹野愛育班	小林芳子氏	ボランティア
日高	久田谷区	岡本浩氏	地域活動者
出石	三木区	田中洋子氏	地域活動者
但東	坂津区	小谷博幸氏	地域活動者
ファシリテーター：永田祐氏（同志社大学 社会学部教授）			

◇つながる映像作成

子どもから高齢者まで様々な年代・団体の方に協力いただき、地域のこれまでのつながりや、コロナ禍から見えてきた新たなつながりのメッセージを、「明日があるさ」の演奏にあわせて表現した映像を作成・DVD に収録し、いきいきサロン等の地域活動団体へ送付して、コロナ禍における「人と人とのつながり」の大切さを発信しました。

⑤豊岡市社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネットとよおか）への参画

各社会福祉法人の専門性を活かした連携・協働を通じて地域福祉推進に寄与することをめざす「豊岡市社会福祉法人連絡協議会」（市内全 23 法人 25 事業所の参画）の事務局運

営を担い、取組みを進めるための協議の場づくりを進めています。

令和2年度はコロナ禍により、予定していた会議や研修会を実施することができなかったが、コロナ禍における各法人の現状と課題を把握・共有し、今後の法人間の助け合いのあり方を検討することを目的とした『新型コロナウイルス対策実態調査』を実施しました。

項 目	取組み内容
令和2年度総会 4月17日（書面決議）	○実務担当者会議の進捗状況 ○令和元年度事業報告及び会計決算報告 ○令和2年度事業計画（案）・会計予算（案）他
新型コロナウイルス 対策実態調査 1月 アンケート実施	○調査項目 ・コロナ禍における事業活動、勤務形態の変更、感染対策備蓄品の状況、 行政の支援策の活用状況、不安や課題等

（２） 福祉委員活動の強化

福祉委員が区長、民生委員、民生・児童協力委員等と連携した見守り・支え合い活動を進め、集いの場（いきいきサロン等）や話し合いの場（福祉委員会等）への参加も通じて、役割を発揮できるよう働きかけを行いました。

コロナ禍においても感染予防対策を講じ、城崎・但東地域では民生委員担当行政区単位で分散して行う等、各地域の状況に合わせた福祉委員研修会を実施しました。

また、社協広報 NIKO やホームページの活用による福祉委員の役割の浸透、民生委員等との連携体制の強化への働きかけを行いました。

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
福祉委員委嘱数	161	31	41	70	51	52	406

【福祉委員研修会等の開催状況】

地域	開催日	参加者数	内 容
豊岡	7月3日	40人	【コミュニティなかすじ まごころ部・区長会研修会】 参加者：福祉委員、民生委員、民生・児童協力委員、区長、健康推進員 内 容：福祉活動の推進に向けて 健康をすすめる地区活動 日常生活見守りマップづくり
	7月22日	30人	【コミュニティ新田ふくし部研修会】 参加者：福祉委員、民生委員、民生・児童協力委員 内 容：福祉活動について
	9月28日	254人	【民生委員、民生・児童協力委員、福祉委員研修会】 参加者：福祉委員、民生委員、民生・児童協力委員 内 容：講義「支え合いの地域づくりに向けた現状と今後の取組」 実践報告「地域における福祉活動（民生委員、民生・児童協力委員、福祉委員の連携した取組）について」
	11月21日	52人	【八条地区福祉連絡会】 参加者：福祉委員、民生委員、民生・児童協力委員、区長

			内 容：福祉の現状と各委員の役割、専門職員の役割について 意見交換「各区の福祉活動の現状・課題について」
	11 月 27 日	34 人	【田鶴野地区福祉連絡会】 参加者：福祉委員、民生委員、民生・児童協力委員、区長 内 容：福祉の現状と各委員の役割、専門職員の役割について 意見交換「各区の福祉活動の現状・課題について」
城崎	7 月 31 日	19 人	参加者：福祉委員 内 容：福祉委員の活動について 健康体操の紹介
	10 月 27 日	12 人	【上山住宅・ひのそ・上山・二見 合同福祉連絡会】 参加者：町内会長、民生委員、民生・児童協力委員、福祉委員 内 容：支え合いの地域づくりについて 区内の 4 者（参加メンバー）連携について 福祉情報の提供 支え合いマップで生活状況の確認
	11 月 22 日	10 人	【結・戸島 合同福祉連絡会】 参加者：町内会長、民生委員、民生・児童協力委員、福祉委員 内 容：同上
	12 月 9 日	10 人	【内島・旭 合同福祉連絡会】 参加者：町内会長、民生委員、民生・児童協力委員、福祉委員 内 容：同上
竹野	7 月 31 日	30 人	参加者：福祉委員 内 容：福祉委員の役割について 社協活動について 情報交換 等
	10 月 26 日	38 名	【竹野地区合同研修会】 参加者：福祉委員、民生委員、民生・児童協力委員 内 容：地域の見守り活動について ～民生委員児童委員・民生児童協力委員・福祉委員の連携～ 3 者の役割について 見守り活動について DVD グループワーク（情報交換）
	10 月 28 日	12 名	【中竹野地区合同研修会】 参加者：福祉委員、民生委員、民生・児童協力委員 内 容：同上
	10 月 30 日	20 名	【竹野南地区合同研修会】 参加者：福祉委員、民生委員、民生・児童協力委員 内 容：同上
日高	10 月 14 日	27 人	【日高西中学校区研修会】 参加者：福祉委員 内 容：福祉委員活動について 実践報告「支え合い活動 虹の街区の取組み」

	10月15日	26人	【日高東中学校区研修会】 参加者：福祉委員 内 容：同上
但東	7月22日	41人	参加者：福祉委員 内 容：福祉委員意識調査アンケート 福祉委員活動について 豊岡市社会福祉協議会の活動について 等
	9月18日	8人	【虫生区・坂野区福祉連絡会】 参加者：福祉委員、区長、民生委員、資母まちづくり協議会) 内 容：豊岡市社会福祉協議会の活動について 区内連携について 等
	10月2日	8人	【口藤区・中藤区・奥藤区福祉連絡会】 参加者：福祉委員、区長、民生委員、資母まちづくり協議会) 内 容：同上
	10月16日	11人	【奥赤区・赤花区・坂津区福祉連絡会】 参加者：福祉委員、区長、民生委員、民生・児童協力委員、資母まちづくり協議会) 内 容：同上
	10月30日	10人	【畑山区福祉連絡会】 参加者：福祉委員、区長、副区長、会計、民生委員、民生・児童協力委員、資母まちづくり協議会) 内容：同上
	11月6日	32人	【合橋地区福祉連絡会】 参加者：福祉委員、区長、民生委員、民生・児童協力委員 内 容：豊岡市社会福祉協議会の活動について 取組紹介「唐川地域づくりの会」 グループワーク「各区内のマップを確認しながら情報共有」 区内連携について コミュニティあいはし生活支援部会の取組について
	11月20日	7人	【東里区・西野々区・高龍寺区福祉連絡会】 参加者：福祉委員、区長、民生委員、資母まちづくり協議会) 内 容：豊岡市社会福祉協議会の活動について 区内連携について 等
	11月30日	9人	【日向区・木村区・太田区福祉連絡会】 参加者：福祉委員、区長、民生委員、資母まちづくり協議会) 内 容：同上
	12月3日	12人	【高橋地区福祉連絡会】 (平田区・栗尾区・佐田区・久畑区) 参加者：福祉委員、区長、民生委員、民生・児童協力委員 内 容：豊岡市社会福祉協議会の活動について 高橋振興対策協議会ささえあい部の取組について グループワーク「各区内のマップを確認しながら情報共有」 区内連携について 等
但東			

	12月4日	11人	【高橋地区福祉連絡会】 (後区・東中区・小坂区・大河内区・薬王寺区) 参加者：福祉委員、区長、民生委員、民生・児童協力委員 内 容：同上
--	-------	-----	--

(3) 災害時の連携・協力体制の強化

大規模災害発生時に、本会と豊岡市の連携・協力によりボランティア、関係機関等の救援活動が円滑に実施されるよう、豊岡市総務部を中心とした支援部（災害時）と共同訓練を実施し、連携内容、災害ボランティアセンターの役割等を共有しました。

一般社団法人豊岡青年会議所より災害時における相互協力の申出を受け、本会と一般社団法人豊岡青年会議所、豊岡商工会議所青年部、豊岡市商工会青年部の4者による協定締結に向けた協議を、豊岡市も交えて行い、災害時の連携体制の構築に向けて取り組みました。

(4) 総合的な相談支援事業の推進

総合相談センター（総合相談・生活支援センター、障害者基幹相談支援センター、各地域包括支援センター）を中心に、高齢者、障がい者、ひきこもり、経済的困窮、制度の狭間にある住民や複合的な課題のある世帯等への支援に向けて、地域を基盤とした相談支援を地域住民、関係機関・団体等との連携・協働により取り組みました。

①総合相談・生活支援センター業務の推進

制度の狭間や複合的な課題を抱えている生活困窮者に対して、市や関係機関、地域住民、企業等との包括的な支援体制づくりに取り組みました。

ア. 総合相談支援チーム会議

「チームアプローチ」を年間テーマとして、市（健康福祉部各課、税務課、生活環境課、水道課等）と豊岡市社協の顔の見える関係づくり、相談援助方法やチームアプローチによる支援方法等を学びました。

開催日	内 容
9月29日	「相談援助の基本を学ぶ」 ～“人を支援する”仕組みと入口の大切な視点～ 講師：兵庫県対人援助研究所主宰 稲松真人氏
12月18日	「本人の側から困難状況を理解する」 ・講義及びグループワーク 講師：大谷大学社会学部准教授 中野加奈子氏

イ. 就労体験活動の実施

長期に渡り離職されている人への就労体験受入企業の開拓に取り組みました。新聞販売店からのポスティング資材の仕分け作業や社協の資材発送業務を9回実施しました。活動を通じて、自己肯定感を高め就労準備につなげることができました。

ウ. soto-caféの実施

つながりから意欲を取り戻す場として開催する『soto-café』を、緊急事態宣言期間中を除き月1回、ウェルストーク調理室で実施しました。生活困窮者、ひきこもり、障がい者等の方々が、食事づくりや作業等を通じてコミュニケーションを図り、自らの役割

を感じることで生きていくための基盤を作る場となっています。相談者の強みを見極めた支援により主体性や自己肯定感が高まり、定期的な外出や就職に結びつく等の成果がありました。

エ. 緊急食料支援

生活に困窮して食べることができない世帯へ、緊急的に食料提供を行い、生活再建に向けた相談支援を、関係機関と連携し行いました。

生活困窮世帯へ提供する食料品について、住民や企業等から寄付いただきました。生活協同組合コープこうべから、生鮮食品の提供や、同組合の取組み『フードドライブ（家庭にある余剰食材の持ち寄り活動）』を通じた寄付を受け、企業との連携のもと生活困窮者支援に取り組みました。

(単位：件)

	令和元年度	令和2年度
食料寄付(件)	76	79
食料支援(件)	32	36

ニーズキャッチ機関

(単位：件)

機関・部署	令和元年度	令和2年度
市社会福祉課	5	3
市健康増進課	1	2
市振興局	1	0
社協本所	1	1
社協支所	2	1
地域包括支援センター	1	1
社協ケアプランセンター	0	1
総合相談・生活支援センター	21	27
合 計	32	36

②地域包括支援センター業務の推進

介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを推進する中核的機関として、高齢者の総合相談支援、権利擁護支援、介護予防支援、認知症相談支援等を行いました。

ア. 認知症の方を支える地域づくり

認知症初期集中支援推進事業により、医師や専門職による支援チームを設置し、認知症やその疑いのある方に早期に関わり、適切な医療・介護・地域の見守りにつなげる取組を進めました。小中高校生や高齢者・企業に対し認知症サポーター養成講座や認知症予防教室を開催し、認知症についての正しい知識の普及啓発に努めました。

イ. 権利擁護支援

虐待の早期発見と迅速な対応を行うため、当事者・家族・事業所等からの通報を受け、市と協働し緊急性に応じて在宅サービスの導入調整や施設入所への対応を行いました。

認知症等により判断能力が低下した方の財産管理や契約手続きを後見人等が利用者に代わって行う成年後見制度の普及啓発や制度利用について相談に対応し、必要に応じて申請手続きの支援を行いました。成年後見制度の必要性があるケースが増加しているが、対応が追い付いていない現状があります。

【虐待対応件数】

(単位:件)

	前年度からの 継続	通報 (内虐待認定)	虐待件数	終結	対応継続
豊岡	10	11(7)	17	11	6
城崎・竹野	3	7(5)	8	4	4
日高	4	6(3)	7	4	3
出石・但東	0	8(6)	6	3	3
合計	17	32(21)	38	22	16

ウ. ケアマネジャーへの支援

ケアマネジャーが効果的に業務を行えるように、月1回、介護支援専門員連絡会を開催し最新の情報発信を行うとともに、関係機関と連携できる場を持ちました。また月1回、自立支援型ケア会議を開催し、利用者本人の望む生活の実現に向けたケアプランが作成できるよう、介護支援専門員の資質向上を図りました。コロナ禍によりネットワーク連絡会の開催を自粛する圏域が多く、ケアマネジャー同士の交流の機会が減少し、オンラインの活用も検討していく必要性があります。

【ケアマネジャーへの支援回数】

(単位:回)

	ケース 検討会議	同行訪問	個別相談 情報提供	サービス 担当者会議	合計
豊岡	56	314	1,653	45	2,068
城崎・竹野	5	57	100	13	175
日高	23	54	318	20	415
出石・但東	8	61	66	14	149
合計	92	486	2,137	92	2,807

③障害者基幹相談支援センター業務の推進

地域の相談支援の中核的な役割を担う機関として困難ケースや虐待ケースにも対応できるよう心掛け、障がい者の総合相談窓口として相談支援事業所での対応困難事例の対応や権利擁護（虐待防止等）、地域移行・地域定着支援の推進など総合的な対応を行いました。また地域課題を把握し社会資源の開発、相談支援事業所への後方支援、人材育成を行います。

ア. 地域の相談支援事業所への支援者支援

地域の中核的な相談支援機関として、各障害者相談支援事業者が抱える困難ケースに対する支援会議開催や同行訪問等による後方支援を行いました。また、障害者自立支援協議会の相談支援グループの会議運営や研修会等を通じて支援者支援、人材育成を行いました。

【地域の相談支援事業所に対する訪問等による支援】

(単位:人/回)

	相談支援 事業所	利用者 実人数	支援方法					
			支援 会議	電話	来所	同行	その他	計
令和元年度	9事業所	32人	15回	25回	12回	37回	23回	112回
令和2年度	7事業所	10人	29回	43回	0回	31回	12回	115回

イ. 障害者虐待防止にかかる業務の推進

障害者虐待に関する早期発見と敏速な対応を行うため、当事者、家族、事業所からの通報や届出（電話・ファックス・メールで24時間365日受付）を受理し、関係機関・団体に虐待防止法の主旨や通報義務についての普及啓発活動、過去に虐待を受けた方の相談、助言等を行います。

	令和元年度	令和2年度
虐待受理(件)	6	3
普及啓発活動(回)	3	3

ウ. 地域移行・地域定着支援の促進

障がい者施設や精神科病院に入院中の方の住居確保や地域での新生活の準備等を支援する「地域移行支援」、地域生活をしている障がい者に対し、トラブル発生時や不安が生じた際に、24時間の連絡・相談等のサポートを行う「地域定着支援」の促進を行いました。

	令和元年度	令和2年度
地域移行支援(件)	0	1
地域定着支援(件)	1	1

(5) 社協セーフティネット機能の充実・強化

生活困窮世帯への社協としてのセーフティネット機能を果たせるよう、生活福祉資金及び法外援護資金の貸付相談で生活困窮世帯の困りごとを受け止め、世帯の課題解決に向けて、総合相談センター各部署（総合相談・生活支援センター、障害者基幹相談支援センター、地域包括支援センター）や市社会福祉課生活援護係等へつなぎ、連携して解決に向けて取り組みました。

法外援護資金「緊急少額資金」では、電気等のライフライン停止や受診代等の緊急的な資金が必要な世帯に対し、緊急的な貸付を4件実施しました。また食べる物が無い状況にある世帯へは「緊急食料支援事業」により無償で食料品を提供し（延べ36世帯）、生活困窮者自立相談支援事業（総合相談・生活支援センター）による相談支援を行い世帯の自立に向けて取り組みました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け収入減少や失業により、緊急かつ一時的な生計維持のため貸付を必要とする世帯に、「生活福祉資金新型コロナウイルス特例貸付」の貸付

を行いました。

資金種類	相談実件数	貸付実績	
		件数	貸付金額(円)
緊急小口資金 (新型コロナウイルス特例貸付)	839	312	50,250,000
総合支援資金 (新型コロナウイルス特例貸付)		162	83,220,000

また、新型コロナウイルス感染症のため自宅待機等で外出ができない家庭への生活支援として、希望する家庭に自宅待機などの期間中に必要な日用品等を配達しました。

支援内容	利用料金	配達件数
感染対策セット（市が指定する物品）	自己負担なし（市負担）	2
特定の日用品	商品代金自己負担	0

※令和3年2月22日より開始

4. 地域における利用者本位の福祉サービスの実現

地域において、利用者がその人らしく豊かな生活が送れるように、単に決められた介護サービスの提供だけでなく、個々のニーズを拾い上げ、柔軟な対応に取り組みました。

（１） 地域福祉・生活支援拠点の充実

地域福祉・生活支援拠点ぐるらんでは、利用者の在宅生活の継続に向けて訪問・通い・宿泊のサービス提供を行いました。

利用者の安心・安楽な移乗とリハビリを兼ねた身体機能の維持、職員の介護負担軽減による職場環境の改善を目的に、県労働環境改善支援事業の補助金を活用し、移乗介護用ロボットを導入。利用者の排泄等において、自立支援につなぐことができました。

運営面においては、スムーズな情報共有、協議が図れていないことから、先駆的に当該事業を運営されている滋賀県高島市社会福祉協議会に3名の職員が視察研修に行き、意見交換等で得た情報や手法等から、朝礼のマニュアルを作成し一貫したミーティングの実施、またヒヤリハットの様式見直しによる協議の徹底が図れました。

居宅介護支援事業所や関係機関に対して、ぐるらの機能や柔軟なサービス提供について十分にPRができていないこと、また近隣以外の地域に対し、ぐるらの機能等を周知できていないこと等により新規利用登録者を十分に確保できていません。今後、早急に改善に取り組む必要があります。

5. 様々な地域課題に対応する人材育成と確保

豊岡市社協が地域福祉活動を推進する組織として、求められる職員像を具現化していくために人事管理制度に重点を置いて、役割に基づいた業務の遂行、フィードバック面接等を通じた人材育成に取り組みました。

また、職種・役職に応じた内部・外部研修により職員の資質向上を図りました。

(1) 計画的な研修体系の構築・実践、業務内容への反映

新型コロナウイルスの影響で兵庫県社協等が主催する研修が軒並み中止となる中、職員の資質や能力の向上を目的に、職種・役職に基づいた内部研修を体系的に実施しました。

職員の知識やスキルアップにはある程度の効果がありましたが、自身の職場での取組みにしっかり反映されているとは言い難い面があります。

また、数年間同じ内容の研修もあり、マンネリ化により受講者確保が厳しいものもあり、研修内容の見直しが必要な状況にあります。

【職員内部研修実施状況】

研修名	講師	対象者	人数
新任職員研修	事務局長、事務局次長 地域福祉課課長補佐 地域福祉課生活支援係長、副主任	新任の正規職員、 嘱託職員	12
ファシリテーション研修 (ホワイトボードミーティング講座)	株式会社ひとまち 代表 ちょん せいこ氏	指導的職員、中堅 職員、希望者	17
説明力向上研修	株式会社アイル・キャリア コンサルタント 松本 治氏	管理職、監督職、 主任、副主任、希 望者	28
リスクマネジメント研修	株式会社福祉リスクマネジメント研究 所長、びわこ学院大学 教授 烏野 猛氏	管理職、監督職、 主任、副主任、希 望者	20
SDGs 研修	SDGs 市民社会ネットワーク 事務局長 新田 英理子氏	全職員	23
労務管理研修	企画総務課課長補佐	全職員 監督職、主任	21
タイムマネジメント研修	ひょうご仕事と生活センター 外部相談員 井原 準哉氏	一般職 管理職、監督職	19
コンプライアンス研修	(公財) 介護労働センター兵庫支所 三輪 五月氏	介護職、一般職	15
コミュニケーション研修	NPO 法人コウノトリ豊岡・いのちのネッ トワーク 兵庫ひきこもり相談支援セ ンター但馬地域ランチ 事務局長 戸田 和代氏	全職員 管理職、監督職	16

認知症ケア研修	(公財) 介護労働センター兵庫支所 三輪 五月氏	全職員	25
メンタルヘルスセルフケア研修	一般社団法人日本産業カウンセラー協会 関西支部 カウンセラー 森田 江里子氏	全職員	15

6. 住民参画による新たな取組の開発

既存の制度やサービスでは解決できない地域課題の解決に向けて、ひきこもりや児童分野等の相談員、企業、子育て世代等の多様なメンバーで構成される善意銀行プロジェクトチームで既存の制度やサービスでは対応できない地域課題について善意銀行の有効活用を含めて新たな事業、取組の検討を行いました。

◇子どもの夢応援奨励金

子どもたちが夢と希望を持って成長していけるように経済的な理由で未来が閉ざされないよう文化、スポーツ活動等に係る臨時的な支出への給付事業の開発

◇福祉ポータルサイトの開発

市民ライターの協力も含め、社協活動に止まらず市内の様々な地域福祉活動・イベント情報、人物、善意銀行の活用等を発信するポータルサイトの開発

※ポータルサイト…インターネットを利用して目的の情報に行き着くため、閲覧者が最初にアクセスする入口の役割をもったウェブサイト。

7. 社協活動の見える化・透明性の確保

毎月市内全世帯に発行する広報紙「N I K O」、随時更新するホームページ及びフェイスブックを通じて、社協活動やコロナ禍における地域活動の状況を広く発信しました。

《主な発信内容》

- 新型コロナウイルス禍における地域の見守り・支え合い活動の状況
- いきいきサロン、地域応援事業等の社協助成事業、福祉関係機関が実施するボランティア活動助成の案内
- 善意銀行への寄付・活用状況、緊急食料支援事業への寄付状況
- 婚活イベント、ボランティア養成講座等の住民参加事業の案内
- 九州地方や全国各地で発生した豪雨災害への義援金募集
- 事業計画、予算、事業報告、決算

豊岡市社会福祉協議会事業活動

1. 地域福祉活動

1-1 地域包括支援センター

高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を送ることができるよう介護予防サービスをはじめ、保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助・支援を包括的に行いました。

相談件数 【重複あり】

(単位:件)

事業所	年度	介護相談	総合事業	介護予防	介護給付	入退所・院	高齢者福祉	障がい者福祉	保健・医療	権利擁護	認知症に関する事	経済	その他	合計
豊岡	R元	1,495	2,005	3,867	331	319	3,317	181	955	530	573	162	426	14,161
	R2	1,538	2,683	4,432	582	407	3,262	181	764	476	824	221	642	16,012
城崎・竹野	R元	236	547	1,911	183	117	789	47	385	110	83	74	160	4,642
	R2	171	1,317	1,694	171	76	981	51	392	228	126	154	231	5,592
日高	R元	449	1,870	2,132	417	306	523	102	433	289	166	69	39	6,795
	R2	231	2,065	2,838	332	194	734	48	344	181	83	15	61	7,126
出石・但東	R元	403	1,376	1,811	146	312	1,012	35	254	226	48	84	241	5,948
	R2	531	1,397	1,752	228	316	1,086	14	493	104	60	62	253	6,296
合計	R元	2,583	5,798	9,721	1,077	1,054	5,641	365	2,027	1,155	870	389	866	31,546
	R2	2,471	7,462	10,716	1,313	993	6,063	294	1,993	989	1,093	452	1,187	35,026

ケアプラン作成件数（予防給付・総合事業・支え合い・からだ元気塾・委託件数含む）（単位：件）

	豊岡	城崎・竹野	日高	出石・但東	合計
令和元年度	6,624	2,734	3,061	3,675	16,094
令和2年度	6,813	2,831	3,531	3,362	16,537

1-2 障害者基幹相談支援センター

障がい者の総合的・専門的な相談の実施に加え、地域の相談支援事業者が抱える困難ケースへのバックアップや人材育成、障がい者の地域課題の解決に向けた取組みの検討等、市や関係サービス事業所等と連携を図りながら総合的な支援に取り組みました。障がい者虐待については、早期発見と迅速な対応を行うため通報、届出受理（電話、ファックス、メール等24時間受付）を行うと共に再発防止の観点から虐待後の継続的な支援も行いました。

計画相談支援

障害福祉サービスを利用する際に必要なサービス計画書の作成や関係機関との連絡調整

	令和元年度	令和2年度
障がい者	199	202
障がい児	51	38
合 計	250	240

一般相談

計画相談支援には至らないが、何らかのサポート（就労支援や家計支援、不安の傾聴等）を必要とする方への支援

令和元年度	令和2年度
147	159

一般相談件数 【重複あり】

(単位:件)

	制度利用	障害・病状の理解	健康医療	不安解消	保育教育	家族・人間関係	家計経済	生活技術	就労	社会参加	権利擁護	その他	合計
R元	620	54	163	103	24	10	96	82	179	37	4	130	1,502
R2	1,372	42	77	307	15	42	66	44	137	14	16	157	2,389

1-3 総合相談・生活支援センター

生活に困窮している、または生きづらさを抱えた相談者の話を丁寧に聴き、相談者の気持ちに寄り添い、意欲の回復や自信を取り戻す支援を市・関係機関・地域住民・企業等と連携しながら、「経済的自立」「日常生活自立」「社会生活自立」に向けて取り組みました。

	令和元年度	令和2年度
新規相談受付件数	102	346

相談件数 【重複あり】

(単位:件)

	病気障害	住まい	収入生活費	家賃ローン支払	税金、公共料金支払	債務	仕事探し就職	仕事上の不安、トラブル
R元	61	19	91	37	46	27	47	14
R2	97	22	308	180	95	34	90	64
	地域との関係	家族関係人間関係	子育て介護	ひきこもり、不登校	DV虐待	食べるものが無い	その他	合計
R元	2	23	26	11	3	18	9	434
R2	4	24	33	10	1	17	10	989

	令和元年度	令和２年度
自立支援プラン作成件数	43	30
就職へつながった件数	21	23

1-4 日常生活自立支援事業

高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの判断能力に不安のある方に対して、福祉サービスの利用支援や日常的な金銭管理を通じて、地域において自立した生活が送れるよう支援を行いました。

契約件数

令和元年度	令和２年度
76	79

問い合わせ・相談件数

	令和元年度	令和２年度
福祉サービス利用援助事業に関して	3,942	4,120
成年後見制度に関して	62	96
その他	1,010	980
合 計	5,014	5,196

1-5 生活福祉資金

低所得世帯や高齢者世帯、障がい者世帯などで生活に一時的に困窮している世帯に対し、必要な費用の一部を貸し付けるとともに、民生委員や社会福祉協議会による相談支援を行うことによって、社会参加の促進を図ることを目的に実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入減少や失業等により生活に困窮する世帯に対する「新型コロナウイルス特例貸付」が令和２年３月２５日より受付開始され対応を行いました。

資 金 種 類	令和元年度		令和２年度	
	件数	貸付金額(円)	件数	貸付金額(円)
福祉資金	0	0	0	0
教育支援資金	1	435,000	6	10,568,000
総合支援資金	0	0	1	600,000
緊急小口資金	5	275,000	7	210,000
臨時特例つなぎ資金	0	0	1	50,000
緊急小口資金 (新型コロナウイルス特例貸付)	1	200,000	312	50,250,000
総合支援資金 (新型コロナウイルス特例貸付)	0	0	162	83,220,000

相談件数	資金種類	令和元年度	令和2年度
	従来の生活福祉資金貸付(延件数)	373	403
	新型コロナウイルス特例貸付(実件数)	15	839

1-6 法外援護資金

失業や病気等様々な理由で困窮し、緊急的に資金が必要な者に対し、法外援護資金の貸付により、生活をつなぎ自立に向けた支援を行うことを目的に実施しました。

電気等のライフライン停止や受診代等の緊急的な資金が必要な世帯に対しては、緊急少額資金により迅速な貸付対応を行いました。

資 金 種 類	令和元年度		令和2年度	
	件数	貸付金額(円)	件数	貸付金額(円)
法外援護資金	4	159,000	3	126,000
緊急少額資金	7	77,320	4	47,000

1-7 心配ごと相談

市民が抱える家族・介護・生計など生活上の様々な心配ごとについて職員が相談に応じ、解決のための助言を行い、誰もが安心して自分らしい生活が送れるようにすることを目的に実施しました。

相談件数

(単位:件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
令和元年度	28	6	2	12	3	1	52
令和2年度	34	11	3	10	5	3	66

1-8 結婚相談

結婚を望んでいるが、出会いの機会が少ない等の理由により結婚に至らない方へ、結婚相談員が相談・助言や紹介を行いました。また、豊岡市内だけにこだわらず但馬全域の登録者の中で相談員による情報交換を行い、良い出会いの提供に取り組みしました。

○結婚相談所開設日

豊岡…第1・3金曜日

日高…第2・4水曜日

(単位:件)

年度	地域	相談件数	紹介	見合い	成婚	成婚の内、相談員が関わった件数(再掲)
R 元	豊岡	42	377	112	6	4
	日高	20	382	100	4	4
	合計	62	759	212	10	8
R 2	豊岡	23	312	104	4	2
	日高	10	244	92	2	2

	合計	33	556	196	6	4
--	----	----	-----	-----	---	---

結婚相談所登録者

(単位:人)

年度	地域	全但登録者数		計	豊岡市内限定登録者数		計
		男	女		男	女	
R 元	豊岡	131	57	188	7	13	20
	日高	73	58	131	12	10	22
	合計	204	115	319	19	23	42
R2	豊岡	62	37	99	13	10	23
	日高	41	27	68	9	13	22
	合計	103	64	167	22	23	45

1-9 法律相談

弁護士が市民の財産・家族間等の問題について法的な手続きを含めた確かな助言を行い、市民の財産・権利の維持・継続を支援することを目的として実施しました。

開設日…毎月第1火曜日

相談件数

令和元年度	令和2年度
86	80

1-10 福祉団体活動費助成事業

豊岡市内の福祉団体を対象に社会参加と交流の場づくりや組織化の支援・促進を目的に共同募金配分金事業として助成を行いました。

助成先	金額(円)
豊岡市老人クラブ連合会	278,000
豊岡市身体障害者福祉協会	266,000
はばたけ手をつなぐ育成会	67,000
豊岡市婦人共励会	159,000
豊岡市民生委員児童委員連合会	624,000
豊岡市遺族会	102,000
豊岡市子ども会連絡協議会	111,000

1-11 子ども福祉委員

子どもたちが、自分の住む地域に暮らす人々の生活や地域活動に関心を持ち、自分に何ができるかを考え、地域内の活動に参加するなど、子どもたちが体験活動を行うことにより、郷土愛を深め、豊かなまちづくりを進めることを目的として、小学校の児童に子ども福祉委員を任命しました。

(単位:人)

豊岡	新田	竹野南	中竹野	竹野	合橋	高橋	合計
15	26	23	11	10	4	11	100

1-12 地域応援事業

世代間交流、地域で支援を必要とする方を支える活動など行政区における先駆的な活動や、障がい者団体や介護者の会などセルフヘルプグループが行う交流、仲間づくりを目的とする活動に3万円を上限として助成を行い、地域における助け合い・支え合い活動の推進を図りました。

助成件数

令和元年度	令和2年度
6	4

1-13 子育てサークル活動支援

地域の子育てサークルが安定的に活動を行えるよう、年間2万円を上限とした活動助成を実施しました。また、子育て支援ボランティアのマッチング等により活動のサポートを行いました。

助成件数

令和元年度	令和2年度
10	10

1-14 障がい者(児)の集える場づくり

障がい者(児)の社会参加の機会、当事者同士や地域住民との仲間づくり等を目的として、気軽に集える居場所づくりを行いました。

地域	開催日	場所	参加人数
豊岡	7月19日	五荘地区コミュニティセンター	17
	12月13日		17
	7月26日	豊岡健康福祉センター	13
	11月8日		16
城崎	7月4日	城崎健康福祉センター	37
	9月5日		46
日高	9月12日	日高健康福祉センター	22
但東	7月11日	但東健康福祉センター	21
	9月12日		24
	11月14日		15

1-15 障がい者(児)クリスマス会

各地域在住または施設通所の障がい者(児)と保護者、ボランティアがクリスマス会イベントを通じて交流を深めるとともに、ノーマライゼーションの理念である障害者(児)の自立と社会参加を促進することを目的として実施しました。

地域	開催日	場所	参加人数
豊岡	12月10日～ 12月22日	豊岡健康福祉センター、豊岡短大、豊岡高校、豊岡総合高校、クラーク記念国際高校、らいふステーション、レインボーハウス、やすら樹	174

城崎	12 月 8 日	城崎健康福祉センター	26
日高	12 月 12 日	日高健康福祉センター	23
出石	12 月 16 日	出石精和園、ワークホーム大地、てっせんの会作業所、グループホームのーら、	63
但東	12 月 20 日	但東健康福祉センター	32

2. ボランティア・市民活動センター、福祉学習

2-1 ボランティア活動

住民主体の地域づくりの推進に向けて、ボランティア・市民活動センターを設置し、福祉分野に限らず多様なボランティアグループの活動支援や、ボランティア活動のコーディネートを行いました。また、障がいや高齢等の理解を図り、違いを認め合い地域で支え合うことの大切さ等を学ぶ福祉学習の推進を、小・中・高等学校や当事者ボランティアと協働し進めました。

ボランティア登録数

	年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	計
グループ数	R 元	40	18	7	20	63	8	156
	R2	40	8	6	18	18	8	98
加入者数	R 元	1,096	227	198	297	497	246	2,561
	R2	709	82	198	260	291	246	1,786
個人登録者	R 元	305	42	8	5	10	80	450
	R2	309	19	10	6	10	78	432

コーディネート件数

	年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	計
ボランティア活動の相談・問い合わせ	R 元	282	67	16	81	150	45	641
	R2	346	93	19	87	118	54	717
コーディネート件数	R 元	274	60	306	33	118	318	1,109
	R2	137	68	297	9	32	312	855

2-2 児童・生徒のボランティア活動推進事業

豊岡市内小・中・高等学校の児童・生徒を対象として、社会福祉への理解と関心を高めるとともに、地域住民と協働し福祉活動をすることにより自分たちの住む地域に目を向け、地域社会への愛着を高め、「福祉の心」を培うことを目的とする活動を行う学校に、年間5万円の助成を行いました。

助成先…45 校(小学校 29 校、中学校9校、高等学校7校)

助成件数

令和元年度	令和2年度
45	45

2-3 福祉学習

障がいのある当事者やボランティアグループ等と協働し、小・中・高等学校の福祉学習のサポートを行いました。体験学習や当事者の講話を聞くことを通じて、児童・生徒の障がいへの理解や思いやりの心を育む働きかけを行いました。

□内容…当事者の講話、車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験、手話学習、点字学習、
認知症サポーター養成研修、福祉学習事前学習会、福祉学習まとめ等

参加人数（延べ）

令和元年度	令和2年度
1, 794	2,102

3. 在宅福祉サービス

3-1 給食サービス事業(食の自立支援事業)

ひとり暮らしや高齢者世帯で心身に支障があり調理が困難な方に、ボランティアの協力を得ながら栄養バランスの取れた食事を届けることにより、栄養改善を図るとともに配食を通じた見守りを行い、健康で自立した生活が維持できることを目的に実施しました。

	年度	竹野	但東	合計
実施日数(日)	R 元	141	148	289
	R2	147	147	294
延利用者(人)	R 元	3,740	3,604	7,344
	R2	3,305	3,134	6,439

3-2 福祉用具貸与事業

高齢や障がいなどにより日常生活に支障を伴う方に福祉用具を一時的に貸し出すことにより、自立した在宅生活が継続できることを目的に実施しました。

貸与品目…車いす、電動ベッド、松葉杖、歩行補助杖、歩行器等

貸出件数

年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
R 元	76	15	9	91	93	45	329
R2	120	6	22	66	45	40	299

3-3 家族介護支援事業

高齢者を在宅で介護している家族等に、介護方法や介護予防、介護者の健康づくりなどについての知識・技術を習得する機会の提供や、介護者相互の交流を通じて介護者のリフレッシュを図ることを目的に実施しました。

	年度	城崎	竹野	出石	但東	合計
開催回数(回)	R 元	7	6	6	4	23
	R2	4	4	6	6	20
延参加者(人)	R 元	21	7	10	26	64
	R2	12	8	19	22	61

3-4 生きがい活動支援通所事業

介護保険制度の要介護認定を受けていない高齢者で家に閉じこもりがちな方に対して、体操やレクリエーション等を行うことで社会的孤立の解消や介護予防を図ることを目的に実施しました。

	年度	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	合計
開催回数(回)	R 元	36	23	24	12	144	239
	R2	17	10	21	10	83	141
延利用者数(人)	R 元	61	206	251	39	1,246	1,803
	R2	21	145	216	22	837	1,241

3-5 最高齢夫婦祝福事業

豊岡市内の最高齢夫婦に9月の高齢者保健福祉月間に祝金(各1万円)を贈呈しました。
最高齢者の祝福は対象者が辞退されました。

3-6 新100歳祝福事業

豊岡市内の新たに100歳を迎えられた方を対象に9月の高齢者保健福祉月間に祝金(各1万円)を50名の方に贈呈しました。

4. 法人運営

4-1 理事会

回数	開催日	出席 理事数	協議事項
1	4月24日 (書面決議日)	12人 監事2人 (書面表決書提出者)	【新型コロナウイルス感染予防の観点から書面決議とした。】 第1号議案 豊岡市社会福祉協議会ハラスメント防止規程の一部改正について 第2号議案 豊岡市社会福祉協議会豊岡ケアプランセンター運営規程(指定特定相談支援事業)の一部改正について
2	6月4日	12人 監事1人	報告事項9件 第3号議案 令和元年度豊岡市社会福祉協議会事業報告について 第4号議案 令和元年度豊岡市社会福祉協議会決算について 第5号議案 評議員の退任について 第6号議案 評議員の推薦について 第7号議案 豊岡市社会福祉協議会職員6月賞与について 第8号議案 評議員選任・解任委員会運営規程の一部改正について
3	7月21日	11人 監事2人	報告事項5件 第9号議案 令和2年度共同募金(令和3年度事業費)「地域目標額」の設定に係る豊岡市社会福祉協議会事業充当計画について
4	8月20日	12人 監事2人	報告事項5件 (協議事項なし)
5	11月26日	11人 監事2人	報告事項10件 第10号議案 豊岡市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の制定について 第11号議案 豊岡市社会福祉協議会嘱託職員給与規程の制定について 第12号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤職員就業規則の一部改正について 第13号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤ヘルパー就業規則の一部改正について 第14号議案 豊岡市社会福祉協議会職員12月賞与について 第15号議案 令和2年度歳末たすけあい運動配分について
6	12月16日	12人 監事2人	報告事項1件 第16号議案 評議員の退任について 第17号議案 評議員の推薦について 第18号議案 豊岡市社会福祉協議会豊岡港デイサービスセンター運営規程の一部改正について

			第19号議案 令和2年度豊岡市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算案について 第20号議案 令和2年度第2回豊岡市社会福祉協議会評議員会の開催について
7	2月25日	13人 監事1人	報告事項7件 第21号議案 介護保険事業積立金の取り崩しについて 第22号議案 豊岡市社会福祉協議会豊岡西デイサービスセンター運営規程等の一部改正について
8	3月17日	11人 監事1人	報告事項2件 第23号議案 令和2年度豊岡市社会福祉協議会第2次資金収支補正予算案について 第24号議案 令和3年度豊岡市社会福祉協議会事業計画案について 第25号議案 令和3年度豊岡市社会福祉協議会資金収支予算案について 第26号議案 令和2年度第3回豊岡市社会福祉協議会評議員会の開催について 第27号議案 職員就業規則の一部改正について 第28号議案 職員給与規程の一部改正について 第29号議案 役員等賠償責任保険契約について

4-2 評議員会

回数	開催日	出席 評議員数	協議事項
1	6月19日	14人	第1号議案 令和元年度豊岡市社会福祉協議会事業報告について 第2号議案 令和元年度豊岡市社会福祉協議会決算について 第3号議案 理事の選任について 第4号議案 監事の選任について
2	12月24日	17人	第5号議案 令和2年度豊岡市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算案について
3	3月25日	11人	第6号議案 令和2年度豊岡市社会福祉協議会第2次資金収支補正予算案について 第7号議案 令和3年度豊岡市社会福祉協議会事業計画案について 第8号議案 令和3年度豊岡市社会福祉協議会資金収支予算案について

4-3 正副理事長会議

開催回数…11回

4-4 部会・委員会

地域福祉活動を推進する中核的な組織として、社会情勢の変化に迅速に対応できる組織づくりに向け各部会・委員会を中心にマネジメント機能の強化、住民参画による組織運営に取り組みました。

部会・委員会	開催日	協議事項
経営戦略部会	6月2日	・令和元年度豊岡市社会福祉協議会事業報告書(案)について ・令和元年度豊岡市社会福祉協議会決算書(案)について
	8月6日	・竹野南デイサービスセンターの事業の方向性について ・豊岡西デイサービスセンターの事業の方向性について
	11月13日	・竹野南デイサービスセンターの事業の方向性について ・豊岡西デイサービスセンター事業について ・豊岡港デイサービスセンター事業の見直しについて
	3月9日	・令和2年度第2次資金収支補正予算案について ・令和3年度事業計画案について ・令和3年度資金収支予算案について
地域福祉部会	9月29日	・外出(移動・交通)の課題解決に向けて
在宅福祉部会	7月28日	・竹野南デイサービスセンターの事業の方向性について ・豊岡西デイサービスセンターの事業の方向性について
	11月5日	・竹野南デイサービスセンターの事業の方向性について ・豊岡西デイサービスセンター事業について ・豊岡港デイサービスセンター事業の見直しについて

4-5 監査会

開催日	内容
5月27日	・令和元年度豊岡市社会福祉協議会事業報告・決算 ・令和元年度豊岡市共同募金委員会事業報告・決算
11月15日	・令和2年度豊岡市社会福祉協議会上半期事業報告・収支状況報告

4-6 評議員選任・解任委員会

回数	協議事項
6月8日 (書面決議日)	【新型コロナウイルス感染予防の観点から書面決議とした。】 ・評議員の選任について 3名
12月18日 (書面決議日)	【新型コロナウイルス感染予防の観点から書面決議とした。】 ・評議員の選任について 1名

4-7 社協会費

一般会費(一世帯年額 1,200 円)

年度	世帯数	会費納入額	納入世帯数	前年度対比
令和元年度	33,274 世帯	28,396,800 円	23,618 世帯	△125,100 円
令和2年度	33,374 世帯	28,577,640 円	23,825 世帯	180,840 円

賛助・施設会費(年額 2,000 円以上)

年度	賛 助 会 費		施 設 会 費		一般会費との 合計金額	前年度対比
	件数	金 額	件数	金 額		
令和元年度	432	1,892,800 円	22	70,000 円	30,359,600 円	△562,300 円
令和2年度	393	1,734,800 円	24	75,000 円	30,387,440 円	27,840 円

4-8 善意銀行寄付・活用状況

	令和元年度	令和2年度	比較
寄付件数	244 件	216 件	△28 件
金額	8,074,840 円	8,884,234 円	809,394 円

活用状況

事業	内 容	件 数
子どもの事故防止事業 (新入学児童ランドセルカバー贈呈)	小学校新入学児童へ交通事故防止の安全対策として、ランドセルカバーを贈呈 初めての取組として、コープ共済と共同でデザインを作成	650
災害時等障がい者 支援用バンダナ	着用することで、障がいのあること或いは支援者であることを周囲の人が認識でき、必要な支援や配慮を受けやすくするバンダナを作成	作成枚数 3,000
火事見舞金	火災により住宅を全焼又は半焼した世帯へ30,000 円の見舞金を支給	8
新入学児童・生徒制服購入助成	新入学児童・生徒のいる要保護世帯に対して、制服やランドセル等の購入費用を新入学準備お祝い金として助成 小学生 15,000 円 中学生 20,000 円	10
地域活動支援センター 施設整備助成	地域活動支援センターが事業に使用する車両、備品購入費の一部を助成し、安定的な運営を支援	5
但馬地区里親会へ助成	但馬地区里親会の活動支援として賛助金を助成	1
青少年非行防止事業 (事務局:豊岡保護区保護司会)	コミュニティセンター、健康福祉センター等の公共施設へ掲示する啓発活動のための標語パネル費用の一部補助	1
地域住民交流拠点づくり活動助成	空き店舗、空き家などを活用し、多様な住民(子ども、子育て世代、働く世代、障がいを抱える方など)が集う毎日型の「住民交流拠点」の設置や運営に係る経費を助成	4
飛び出し人形寄贈	市内の園・児童の交通事故防止の安全対策として、飛び出し人形を贈呈	50
ひとり暮らし高齢者等除雪 お手伝い事業	一人暮らしで本人では除雪が困難な高齢者等の家周りの除雪に係る費用の一部を助成	12

4-9 苦情受付

苦情受付件数 18 件

【苦情申出人の属性区分】 (単位:件)

サービス利用者	6
サービス利用者家族	8
一般住民	3
ケアマネジャー(他法人)	1

【苦情の事業区分】 (単位:件)

法人運営	2
ケアプランセンター	3
ヘルパーステーション	2
デイサービスセンター	8
小規模多機能型居宅介護	1
地域包括支援センター	2

【苦情の内容区分】 (単位:件)

	件数	終結
サービス・ケアの内容に関すること	6	6
職員の態度・対応に関すること	8	8
運転・駐車方法に関すること	2	2
確認不足によるもの	2	2

【第三者委員会】

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、委員会の開催に代えて書面報告の形式で実施しました。

5. 介護保険・障害者サービス

5-1 居宅介護支援事業

在宅の要介護・要支援者が介護サービス等を適切に利用できるよう、利用者の依頼を受けて、その心身の状況、生活環境、利用者及びその家族の希望を勘案し、居宅サービス事業所や関係機関と連携・調整を図りました。

延利用者数

(単位:人)

	令和元年度	令和2年度	比較
豊岡	1,618	1,741	123
豊岡北	1,463	1,527	64
日高	2,085	2,023	△62
出石・但東	2,412	2,421	9
合計	7,578	7,712	134

5-2 訪問介護事業

訪問介護員が要介護・要支援状態にある利用者の居宅を訪問して、入浴、排泄、食事などの介護や、掃除、洗濯、調理などの生活援助、また通院介助を行いました。

延利用者数

(単位:人)

	令和元年度	令和2年度	比較
豊岡	14,968	10,912	△4,056
竹野	10,456	10,054	△402
日高	15,607	18,559	△3,416
日高西	6,368		
出石	19,356	19,770	414
合計	66,755	59,295	△7,460

5-3 訪問入浴介護事業

看護職員1名と介護職員2名が利用者宅を訪問し、組み立て式浴槽にて入浴、洗髪などのサービスを提供しました。入浴前後には、看護職員が健康チェックを行いました。

延利用者数

(単位:人)

令和元年度			令和2年度			比較		
介護	障がい	合計	介護	障がい	合計	介護	障がい	合計
1,236	215	1,451	1,427	374	1,801	191	159	350

5-4 通所介護事業

要介護・要支援状態にある利用者へ健康チェック、入浴、レクリエーションなどを通じて心身の機能の維持や交流の場を提供しました。また、家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

延利用者数

(単位:人)

	令和元年度			令和2年度			比較		
	介護	障害	合計	介護	障害	合計	介護	障害	合計
豊岡港	5,425	0	5,425	5,301	0	5,301	△124	0	△124
豊岡西	5,128	161	5,289	4,895	178	5,073	△233	17	△216
竹野	6,476	64	6,540	6,733	59	6,792	257	△5	252
竹野南	2,257	0	2,257	2,832	0	2,832	575	0	575
日高西	7,353	9	7,362	7,121	9	7,130	△232	0	△232
日高東	5,834	49	5,883	6,381	51	6,432	547	2	549
日高八代	1,132	0	1,132	0	0	0	△1,132	0	△1,132
但東	5,745	0	5,745	5,534	0	5,534	△211	0	△211
合計	39,350	283	39,633	38,797	297	39,094	△553	14	△539

5-5 地域福祉・生活支援拠点ぐるらん(小規模多機能型居宅介護事業)

日中の通い、夜間の泊り、24時間対応の訪問を組み合わせ、一人ひとりのニーズ・生活に合わせたオーダーメイドの支援に取り組みました。

利用状況

	令和元年度	令和2年度	比較
実登録者数 (人)	26	29	3
月平均(人)	20	19	△1
訪問(回)	1,902	2,508	606
通所(回)	3,174	2,940	△234
宿泊(回)	259	284	25

5-6 障害者サービス事業

訪問介護員が身体に障がい、知的障がい、精神障がいがある利用者の居宅を訪問して、入浴、排泄、食事介助などの身体介護や、掃除、洗濯、調理などの家事援助や外出の支援、移動介助を提供しました。

居宅介護 延利用者数

(単位:人)

	令和元年度	令和2年度	比較
豊岡	1,990	2,465	475
竹野	1,448	1,561	113
日高	832	1,731	123
日高西	776		
出石	2,247	2,147	△100
合計	7,293	7,904	611

同行援護 延利用者数

(単位:人)

	令和元年度	令和2年度	比較
豊岡	81	63	△18
竹野	239	192	△47
日高	0	19	19
日高西	0		
出石	155	170	15
合計	475	444	△31

移動支援 延利用者数

(単位:人)

	令和元年度	令和2年度	比較
豊岡	49	47	△2
竹野	43	49	6
日高	29	23	△6
日高西	0		
出石	39	40	1
合計	160	159	△1

5-7 産前・産後サポーター派遣事業

妊娠、出産及び子育てに関する悩みや不安を抱える方や、家族等から産後の支援を受けられない方に、家事援助及び相談を行い、身体の負担の軽減と心身の安定を図り、安心して子育てができるように援助を行いました。

延利用者数

(単位:人)

	令和元年度	令和2年度	比較
豊岡	381	367	△14
竹野	6	1	△5
日高	93	226	133
日高西	0		
出石	54	76	22
合計	534	670	136